

vol.155



あおしん

景況レポート

2020 WINTER

〈実績〉 2019年10月～12月期

〈見通し〉 2020年1月～3月期



青木信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/aoshin/>

もくじ

■ 景気観測	1
■ 個別判断項目（業種別）	
総合	2
鑄造業	4
機械製造業	6
卸売業	8
小売業	10
建設業	12
不動産業	14
サービス業	16
■ 【特別調査】	
「2020年（令和2年）の経営見通し」	18
■ 経営上の問題点と当面の重点経営施策	19
■ あおしんトピックス	20

■ この調査について

1. 調査目的	川口市を中心とした最近の中小・小規模企業の動向把握
2. 調査時期	2019年12月2日（月）～12月5日（木）
3. 調査内容	2019年7月～9月期と比較した2019年10月～12月期の実績見込み 2019年10月～12月期と比較した2020年1月～3月期の予想
4. 調査方法	聞き取りによるアンケート調査
5. 調査対象	当金庫お取引先企業 301 企業、回答企業数 301 企業（回答率 100%）
6. 調査回答企業数	鑄造業 29、機械製造業 38、その他製造業 49、卸売業 27、小売業 40、 建設業 45、不動産業 30、サービス業 43
7. 分析方法	DI（ディフュージョン・インデックス）方法。「増加」（増加+やや増加） と回答した企業割合から、「減少」（減少+やや減少）と回答した企業割合 を差し引いた指数のことで、そのどちらの企業割合が多いかによって、景 況の動きを時期的な推移の中で把握しようとするものです。
8. お問い合わせ先	青木信用金庫 地域振興部 川口市中青木 2-13-21 TEL 048-251-7667（直通）

景気観測

2020年の景気見通しに対する埼玉県企業の意識調査
～2020年の景気、「悪化」と見込む企業は37.3%～

はじめに

2019年12月9日に発表された7-9月期の実質GDP成長率2次速報は、前期（4～6月期）比0.4%増（年率換算で1.8%増）となり、4四半期連続でプラスの成長となった。省力化投資などの設備投資や公共工事、五輪関連の建設需要などに加え、消費税率引き上げ前の駆け込み需要も好影響を与えた。一方、相次ぐ自然災害や世界経済の動向、人手不足の深刻化などの懸念材料もあり、業種や地域で景況感に格差が生じている。帝国データバンク大宮支店は、2019年の景気動向および2020年の景気見通しに対する埼玉県企業の見解について調査を実施した。
※調査期間は2019年11月18日～30日、調査対象は県内企業976社で、有効回答企業数は389社（回答率39.9%）。

調査結果

2019年の景気動向、「回復局面」であったと考える企業は4.4%となり、2年連続で1ケタ台となった。他方、「踊り場局面」とした企業は47.0%と半数近くにのぼったほか、「悪化局面」とした企業は30.6%と前回調査（2018年11月調査）から15.5ポイント増加し、7年ぶりに3割超えとなった。

2020年の景気見通し、「回復局面」を見込む企業は5.4%で、2年連続で1ケタ台となった。「踊り場局面」になると見込む企業は32.9%と、前回調査（43.2%）より減少したものの、「悪化局面」を見込む企業は37.3%で2年連続で増加しており、過去3番目に高い水準となった。景気の先行きについて、1年前より厳しい見方を強めている様子がうかがえた。

2020年景気への懸念材料は、「人手不足」が45.8%で最も高かった（3つまでの複数回答）。以下、「中国経済」（33.7%）が3割超で続き、「原油・素材価格（上昇）」（25.7%）、「消費税制」（23.1%）、「米国経済」（21.6%）が続いた。

景気回復のために必要な政策、「個人消費の拡大策」が38.6%（複数回答）と4割近くにのぼり、トップとなった。次いで、「人手不足の解消」（35.7%）、「所得の増加」（30.3%）、「年金問題の解決（将来不安の解消）」（28.8%）、「雇用対策」（26.7%）が続いた。他方、災害に対する政策を重視している企業もみられた。

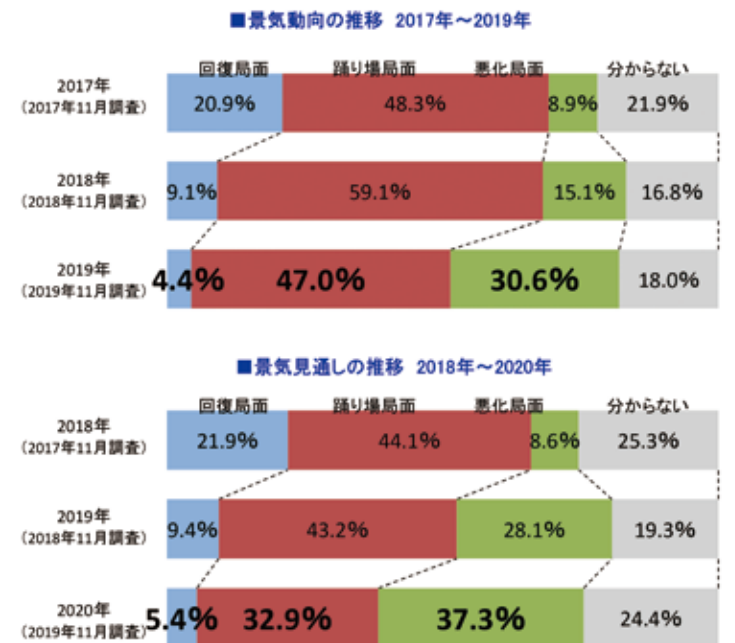
2019年の景気動向は前年に引き続き厳しさが増す結果となった。2020年の景気見通しも1年前より厳しい見方を強めている様子がうかがえる。減速しつつある経済を再び上向かせるためには、政府は消費増税後の個人消費改善策や人手不足の解消、海外経済のリスクに対応した政策を進めることが重要となろう。

株式会社帝国データバンク

大宮支店 情報部 記者 長森 浩史（ナガモリ ヒロシ）

《略歴》

富山県出身、県立富山東高等学校卒業、法政大学社会学部卒業。1991年（株）帝国データバンク入社、調査第1部配属。1999年本社情報部配属、2008年大宮支店情報部配属、現在に至る。



総合

全業種の当期(10～12月期)の業況判断DIは▲7となり、前期(7～9月期)と比較して2ポイントの悪化となった。「販売・請負・料金価格」で3ポイントの上昇、「売上」、「資金繰り」で2ポイント、「収益」で7ポイントの悪化、「設備」で2ポイントの減少となる。

来期(1月～3月)は「資金繰り」で横ばい、「業況」、「売上」

で5ポイント「収益」で1ポイントの悪化、「販売・請負・料金価格」で6ポイント、「原材料・仕入価格」で7ポイントの下降、「設備」で1ポイントの減少を予想している。

全体的には、前期(7～9月期)と比較して景況感は若干の悪化となり、来期の見通しについても下降傾向を予想している。

業況判断指数

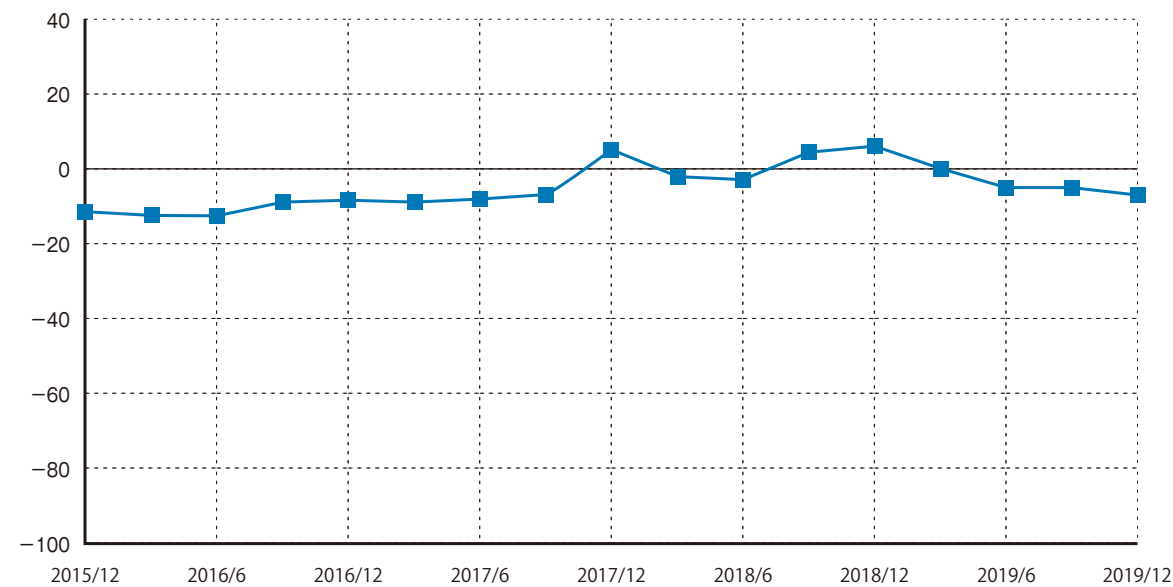
当期

▲7
(▲2)

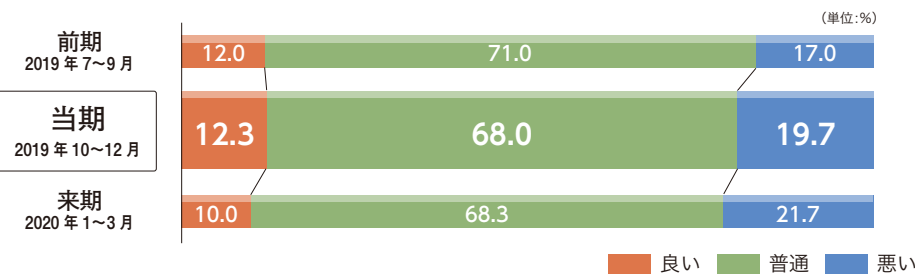
来期予想

▲12
(▲5)

「業況DI」推移



業況



業況判断指数

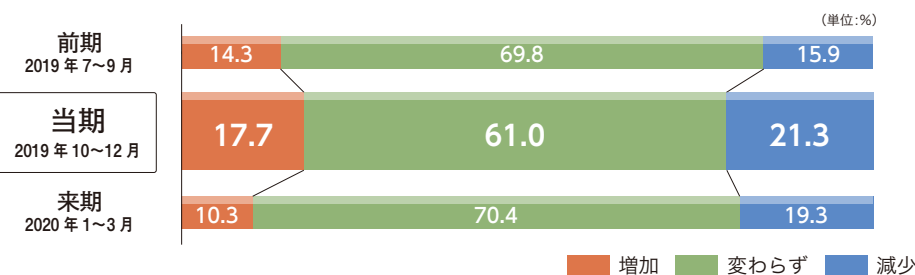
当期

▲7
(▲2)

来期予想

▲12
(▲5)

売上



業況判断指数

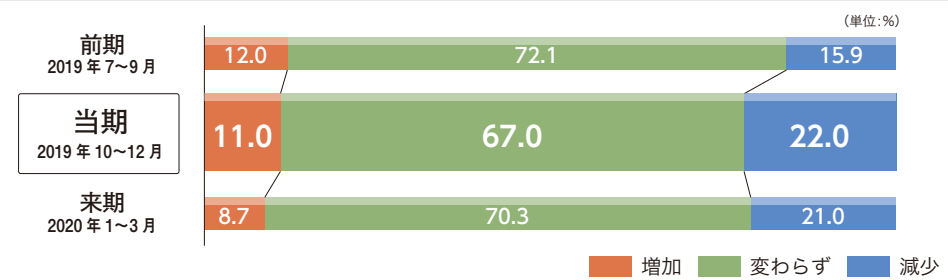
当期

▲4
(▲2)

来期予想

▲9
(▲5)

収益



業況判断指数

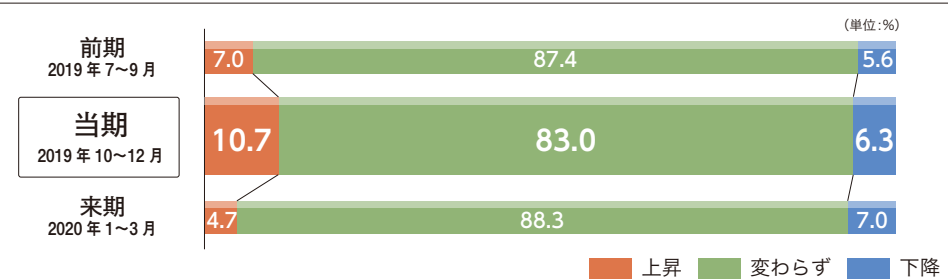
当期

▲11
(▲7)

来期予想

▲12
(▲1)

販売・請負・料金価格



業況判断指数

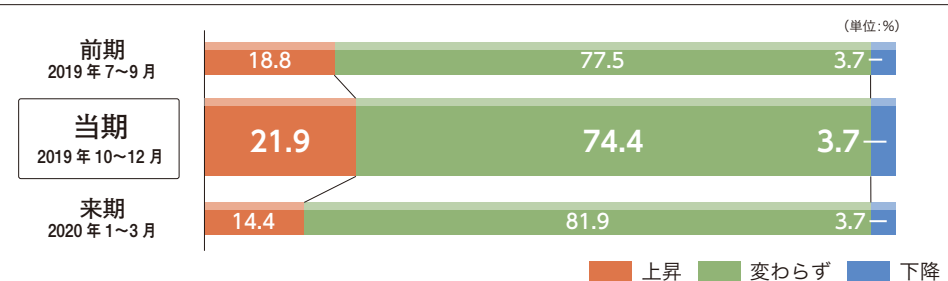
当期

4
(+3)

来期予想

▲2
(▲6)

原材料・仕入価格



業況判断指数

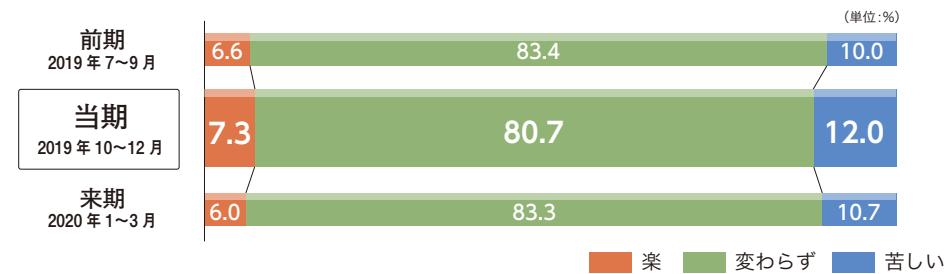
当期

18
(+3)

来期予想

11
(▲7)

資金繰り



業況判断指数

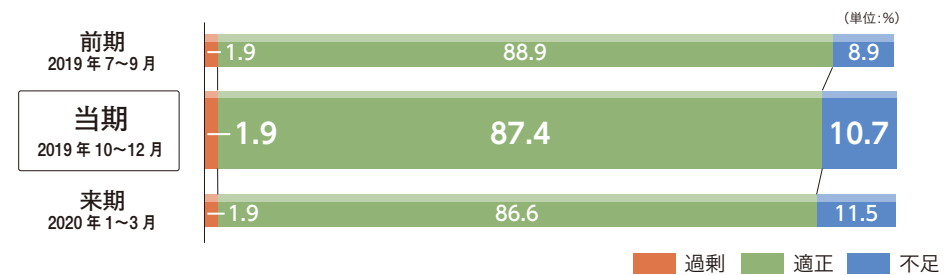
当期

▲5
(▲2)

来期予想

▲5
(0)

設備



業況判断指数

当期

▲9
(▲2)

来期予想

▲10
(▲1)

アイコンの説明: ...DI値 15 以上 ...DI値 14～5 ...DI値 4～▲4 ...DI値 ▲5～▲14 ...DI値 ▲15 以下

「上 昇」 ...当期より増加 「横ばい」 ...当期から変化なし 「下 降」 ...当期より減少

...DI値 0 以上 ...DI値 0 ...DI値 0 以下

※カッコ内は前回調査との増減幅です。

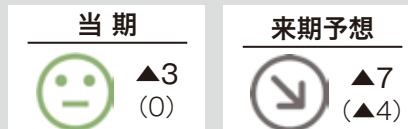
鑄造業

鑄造業の当期(10～12月期)の業況判断DIは▲3となり、前期(7～9月期)と比較して横ばいとなった。「販売・請負・料金価格」で3ポイントの上昇、「原材料・仕入価格」、「設備」で横ばい、「売上」で10ポイント、「収益」で7ポイント、「資金繰り」で4ポイントの悪化となる。

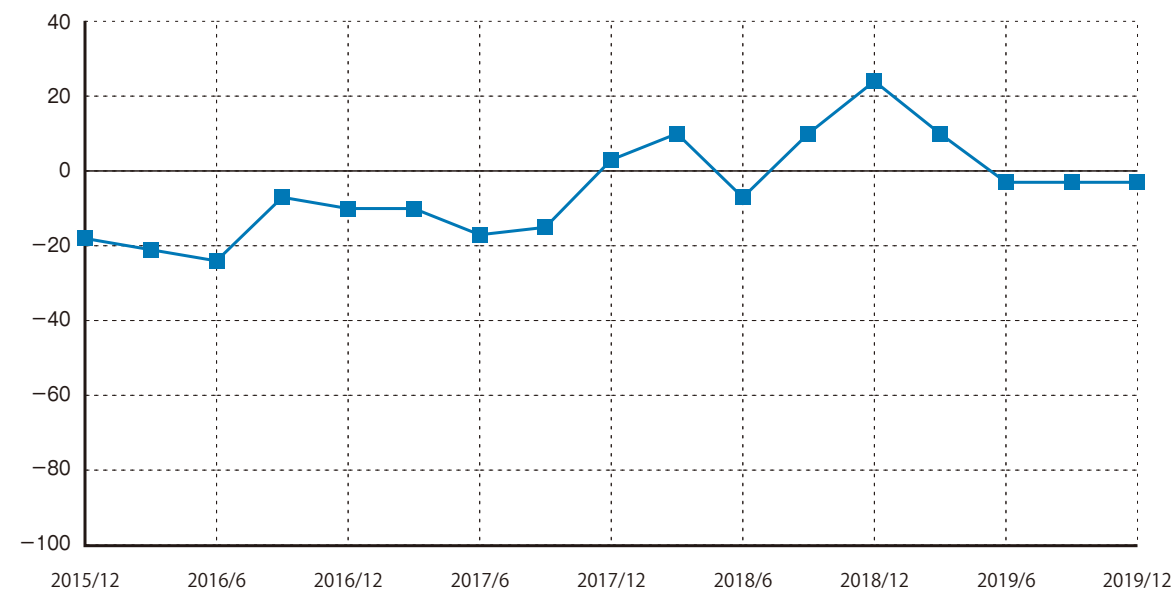
来期(1～3月期)は、「売上」で3ポイントの改善、「資金

繰り」、「設備」で横ばい、「業況」で4ポイント、「収益」で7ポイントの悪化、「販売・請負・料金価格」、「原材料・仕入価格」で3ポイントの下降を予想している。

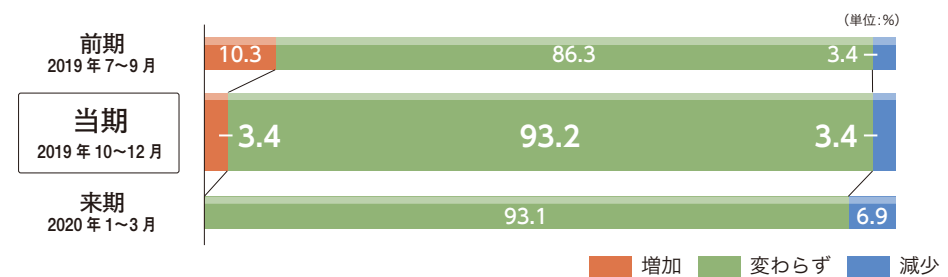
業況判断指数



「業況 DI」推移



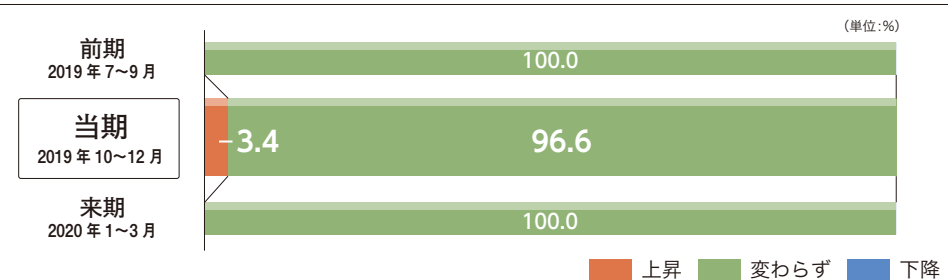
収益



業況判断指数



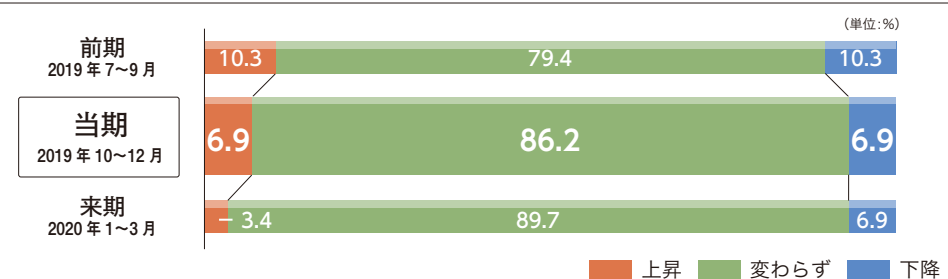
販売・請負・料金価格



業況判断指数



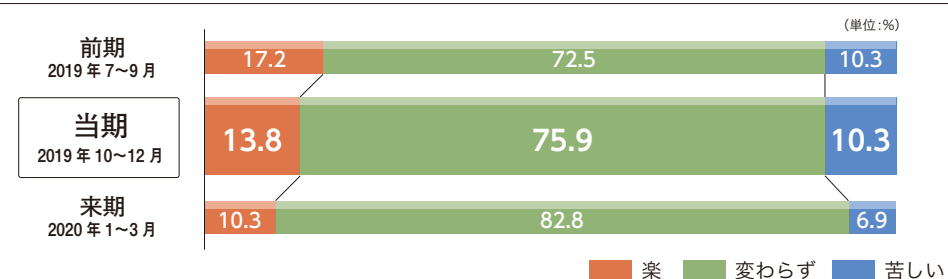
原材料・仕入価格



業況判断指数



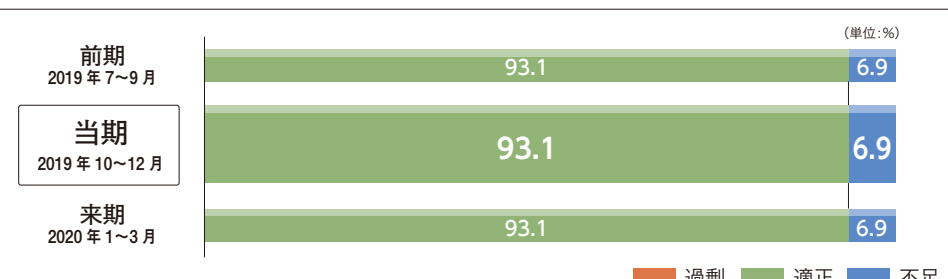
資金繰り



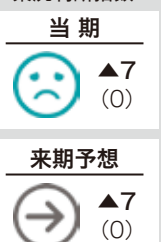
業況判断指数



設備



業況判断指数



アイコンの説明:
 ☺ …DI値 15 以上 ☺ …DI値 14～5 ☺ …DI値 4～▲4 ☹ …DI値▲5～▲14 ☹ …DI値▲15 以下
 ↗ 「上 昇」 …当期より増加 → 「横ばい」 …当期から変化なし ↘ 「下 降」 …当期より減少

↑ …DI値 0 以上 → …DI値 0 ↓ …DI値 0 以下

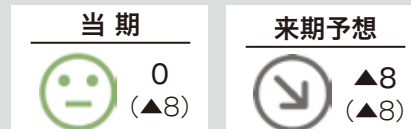
※カッコ内は前回調査との増減幅です。

機械製造業

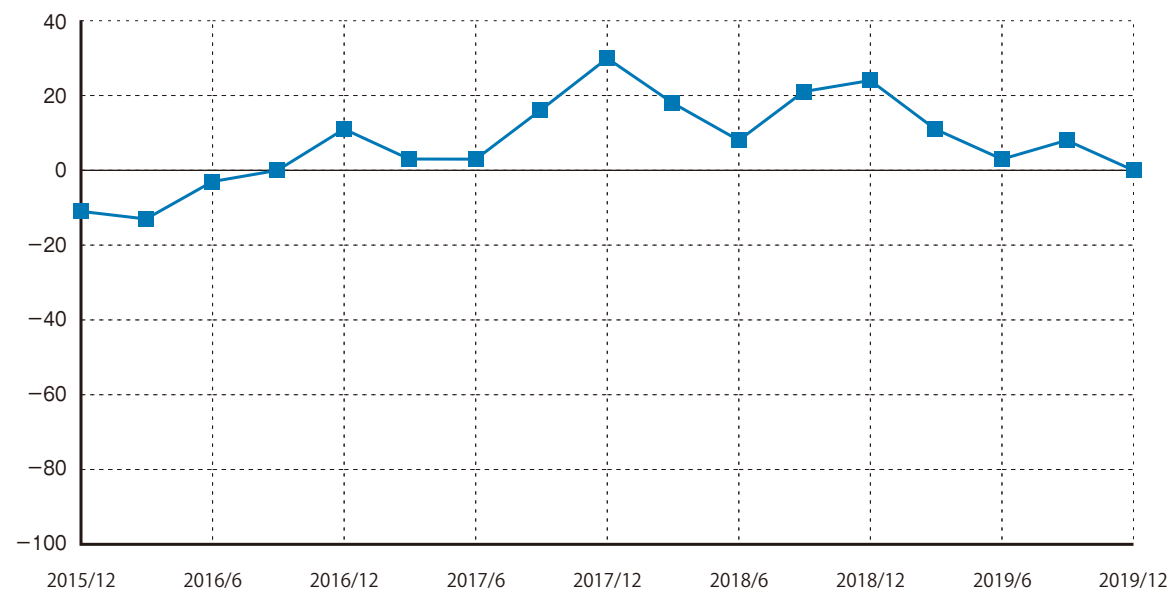
機械製造業の当期(10～12月期)の業況判断DIは0となり、前期(7～9月期)と比較して8ポイントの悪化となった。「設備」で5ポイントの改善、「売上」で6ポイント、「収益」で14ポイント、「資金繰り」で7ポイントの悪化、「販売・請負・料金価格」で5ポイント、「原材料・仕入価格」で7ポイントの下降となる。

来期(1～3月期)は、「収益」で3ポイント、「資金繰り」で2ポイントの改善、「設備」で横ばい、「業況」で8ポイント、「売上」で5ポイントの悪化、「販売・請負・料金価格」で6ポイント、「原材料・仕入価格」で3ポイントの下降を予想している。

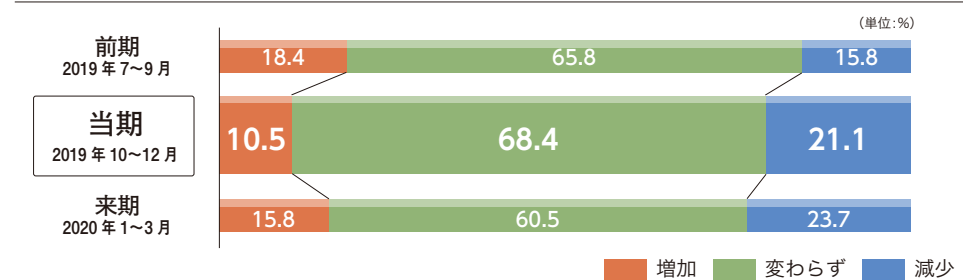
業況判断指数



「業況 DI」 推移



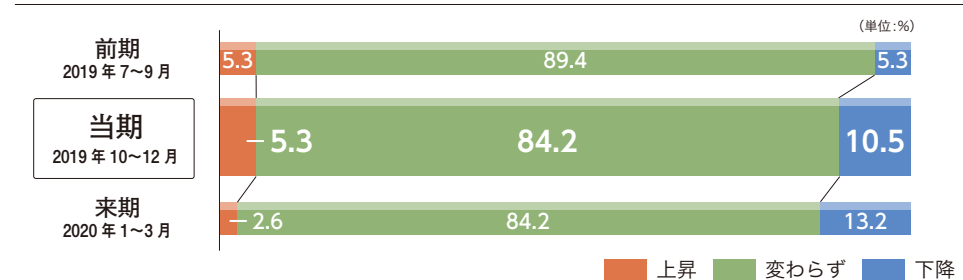
収益



業況判断指数



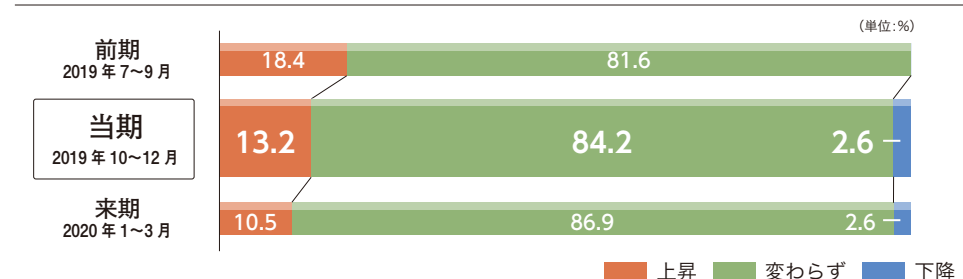
販売・請負・料金価格



業況判断指数



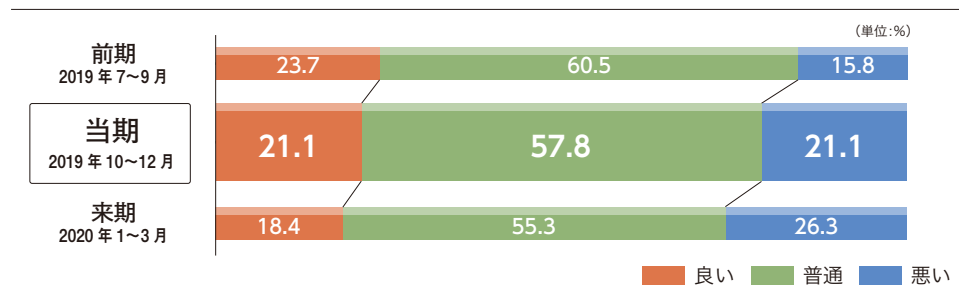
原材料・仕入価格



業況判断指数



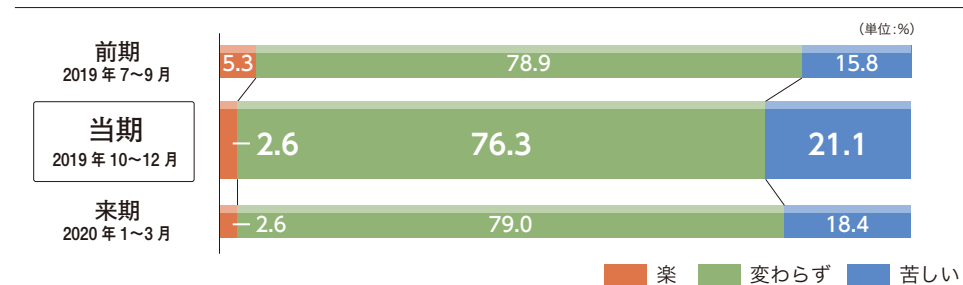
業況



業況判断指数



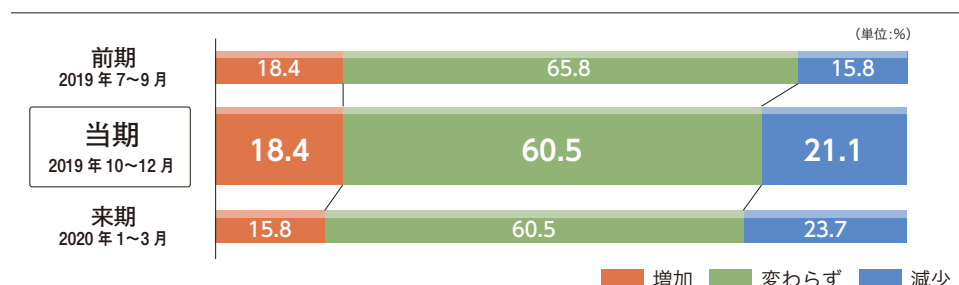
資金繰り



業況判断指数



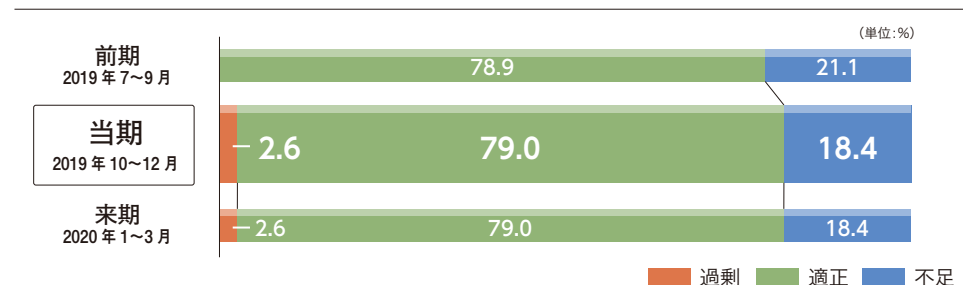
売上



業況判断指数



設備



業況判断指数



アイコンの説明: ...DI値 15 以上 ...DI値 14～5 ...DI値 4～▲4 ...DI値▲5～▲14 ...DI値▲15 以下
 「上 昇」 ...当期より増加 「横ばい」 ...当期から変化なし 「下 降」 ...当期より減少

...DI値 0 以上 ...DI値 0 ...DI値 0 以下

※カッコ内は前回調査との増減幅です。

OROSHIURI-GYOU

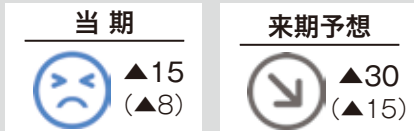
卸売業

卸売業の当期(10～12月期)の業況判断DIは▲15となり、前期(7～9月期)と比較して8ポイントの悪化となった。「売上」、「資金繰り」で7ポイント、「収益」で3ポイントの悪化、「販売・請負・料金価格」で12ポイント、「原材料・仕入価格」で4ポイントの悪化、「設備」で4ポイントの悪化となる。

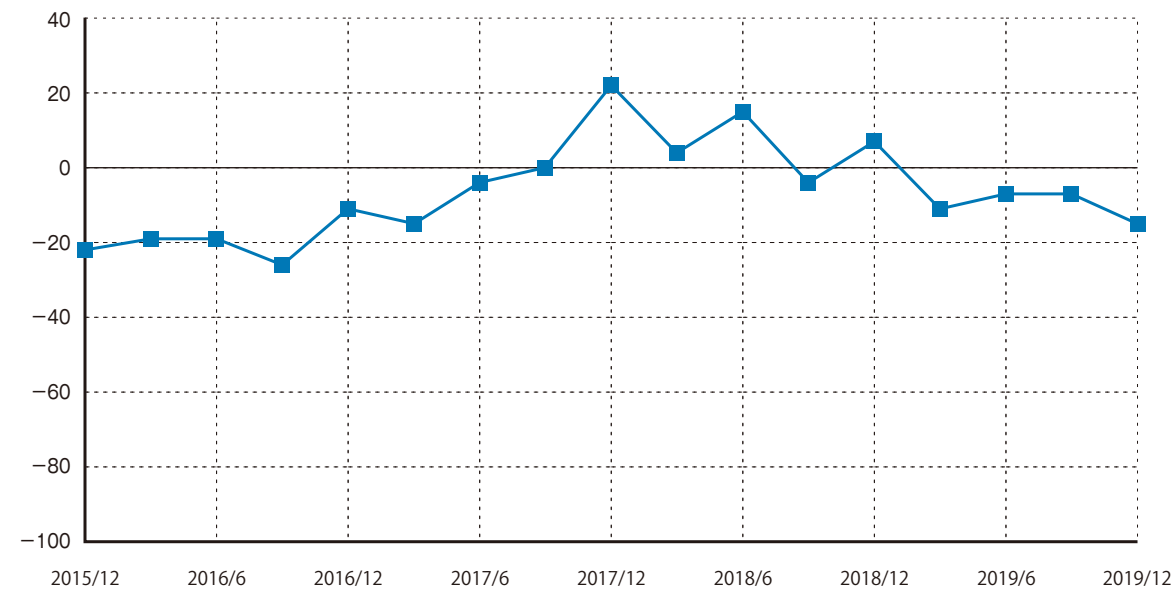
来期(1～3月期)は、「設備」で横ばい、「業況」で15ポイント

「売上」で22ポイント、「収益」で19ポイント、「資金繰り」で4ポイントの悪化、「販売・請負・料金価格」で11ポイント、「原材料・仕入価格」で7ポイントの悪化を予想している。

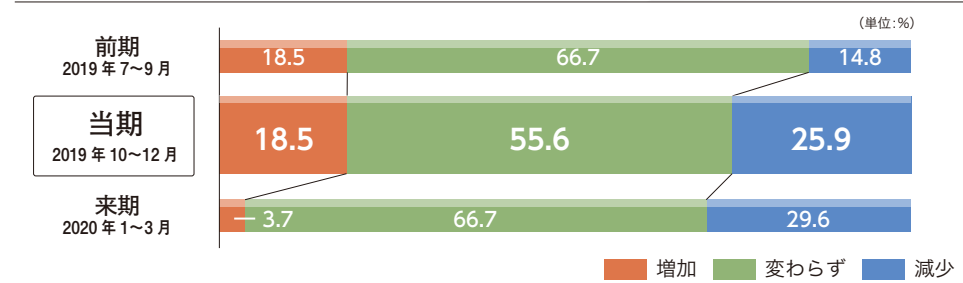
業況判断指数



「業況 DI」推移



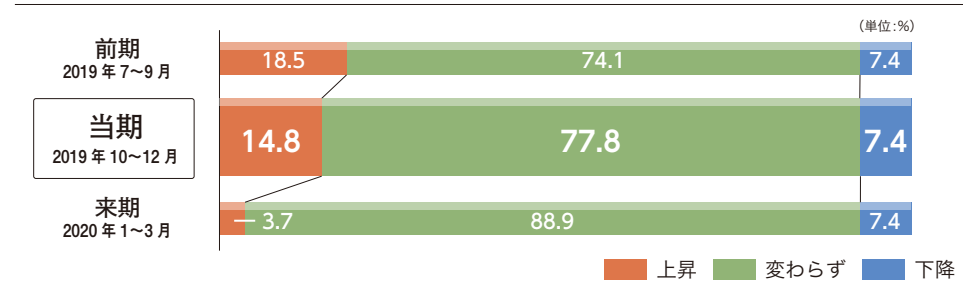
収益



業況判断指数



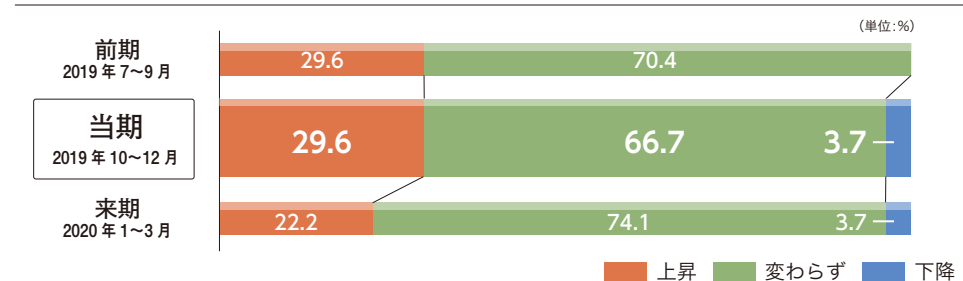
販売・請負・料金価格



業況判断指数



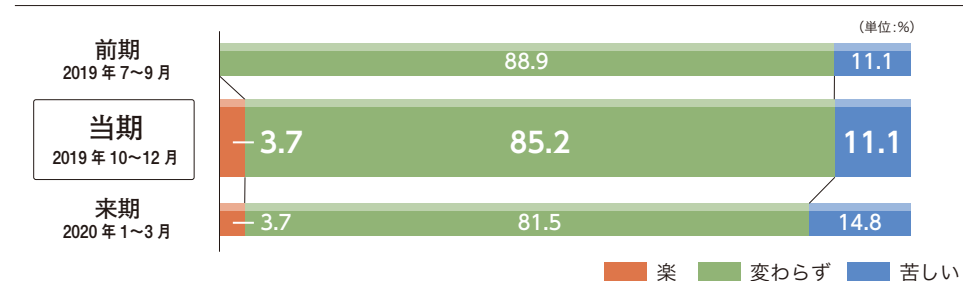
原材料・仕入価格



業況判断指数



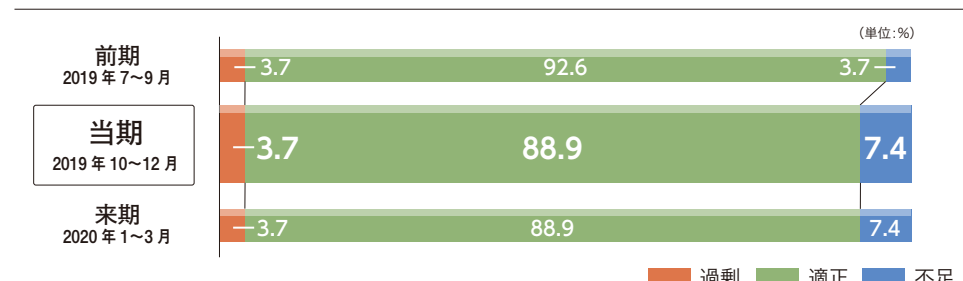
資金繰り



業況判断指数



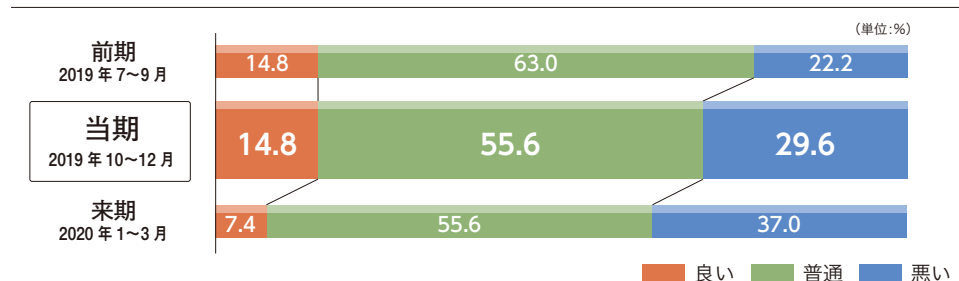
設備



業況判断指数



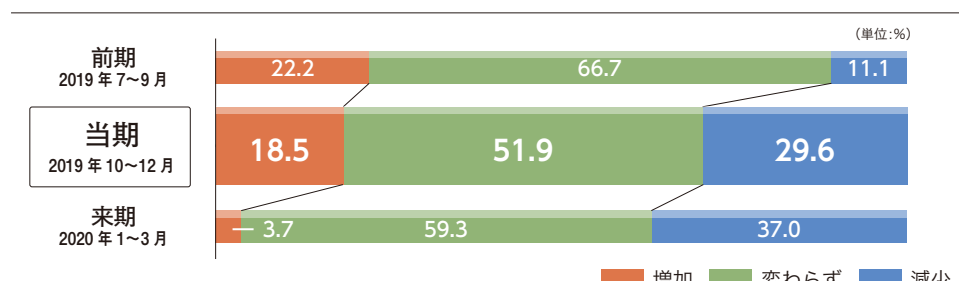
業況



業況判断指数



売上



業況判断指数



アイコンの説明: ...DI値 15 以上 ...DI値 14～5 ...DI値 4～▲4 ...DI値▲5～▲14 ...DI値▲15 以下

「上 昇」 ...当期より増加 「横ばい」 ...当期から変化なし 「下 降」 ...当期より減少

...DI値 0 以上 ...DI値 0 ...DI値 0 以下

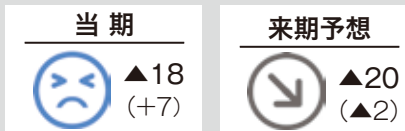
※カッコ内は前回調査との増減幅です。

小売業

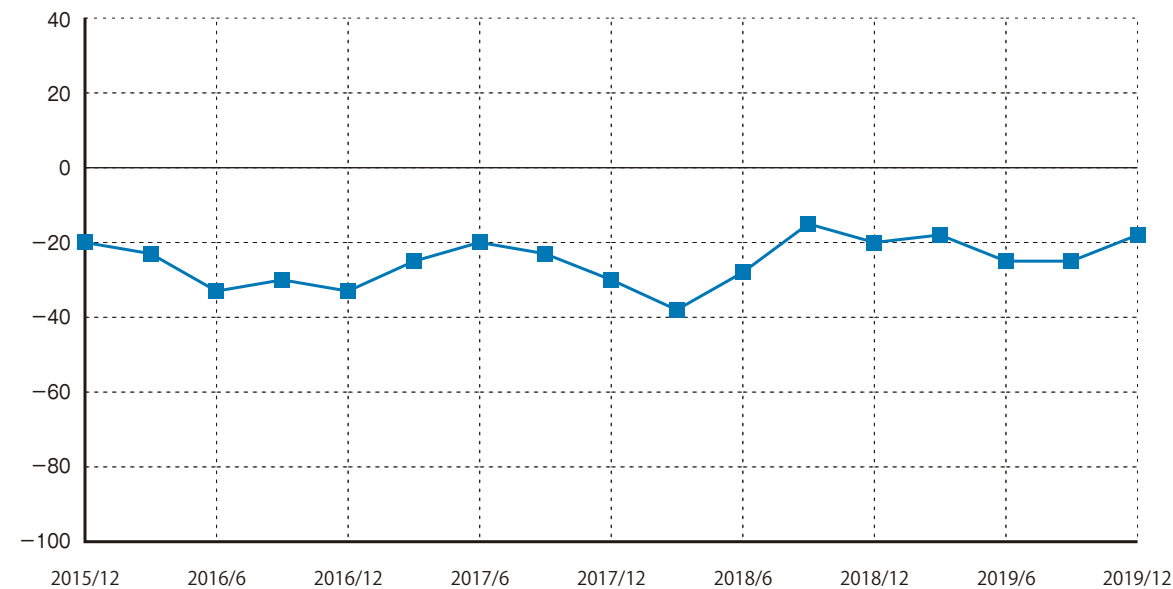
小売業の当期(10～12月期)の業況判断DIは▲18となり、前期(7～9月期)と比較して7ポイントの改善となった。「売上」で5ポイントの改善、「販売・請負・料金価格」で16ポイント、「原材料・仕入価格」で10ポイントの上昇、「収益」で横ばい、「資金繰り」で10ポイントの悪化、「設備」で5ポイントの減少となる。

来期(1～3月期)は、「売上」で2ポイント、「収益」で5ポイント、「資金繰り」で7ポイントの改善、「販売・請負・料金価格」、「設備」で横ばい、「業況」で2ポイントの悪化、「原材料・仕入価格」で5ポイントの下降を予想している。

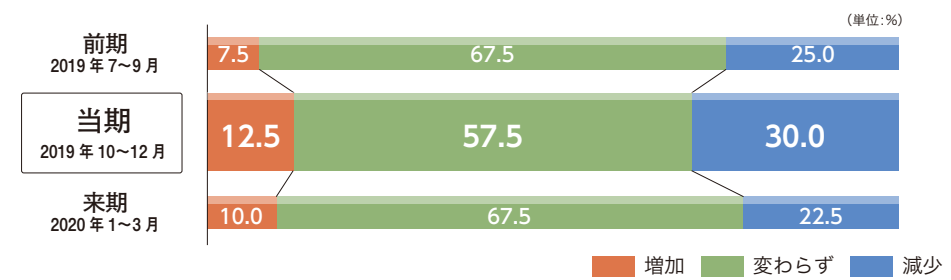
業況判断指数



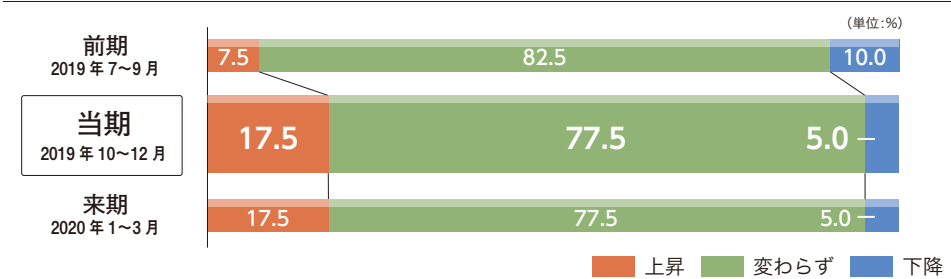
「業況 DI」推移



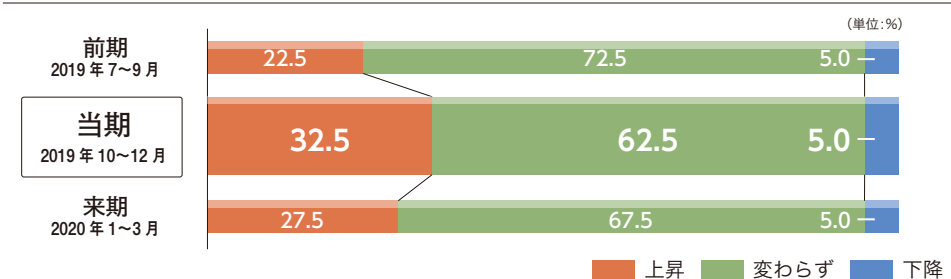
収益



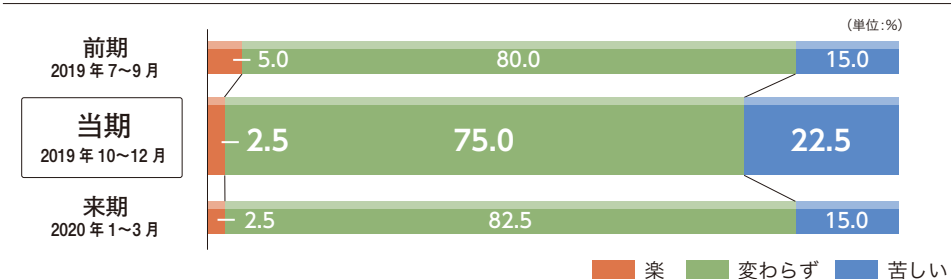
販売・請負・料金価格



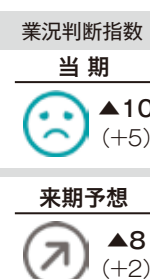
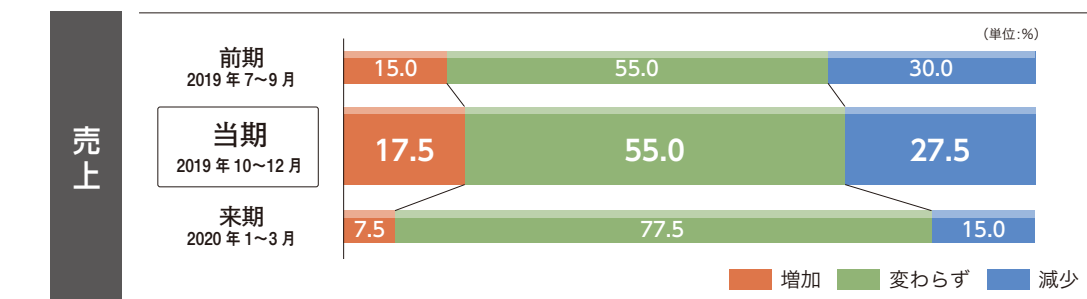
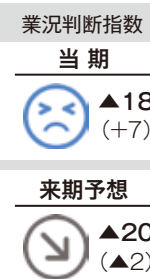
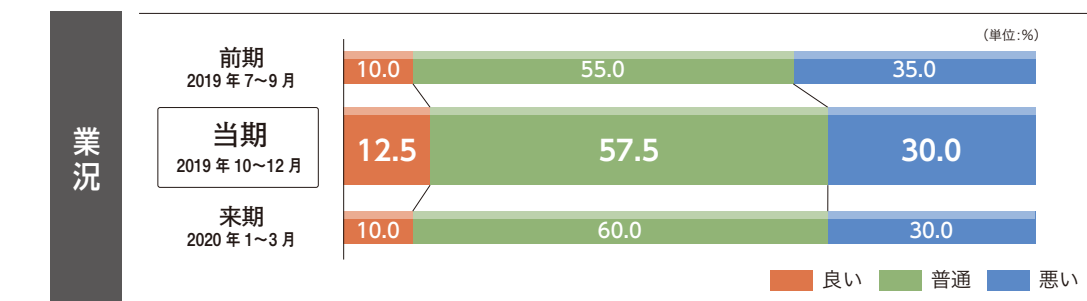
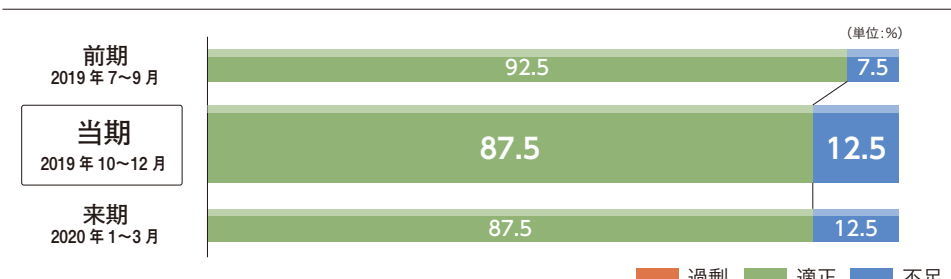
原材料・仕入価格



資金繰り



設備



アイコンの説明: ...DI値 15 以上 ...DI値 14～5 ...DI値 4～▲4 ...DI値▲5～▲14 ...DI値▲15 以下
 「上 昇」 ...当期より増加 「横ばい」 ...当期から変化なし 「下 降」 ...当期より減少

...DI値 0 以上 ...DI値 0 ...DI値 0 以下

※カッコ内は前回調査との増減幅です。

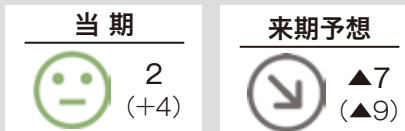
建設業

建設業の当期(10～12月期)の業況判断DIは2となり、前期(7～9月期)と比較して4ポイントの改善となった。「売上」で20ポイント、「収益」で5ポイント、「資金繰り」で7ポイントの改善、「販売・請負・料金価格」で9ポイントの上昇、「原材料・仕入価格」、「設備」で横ばいとなる。

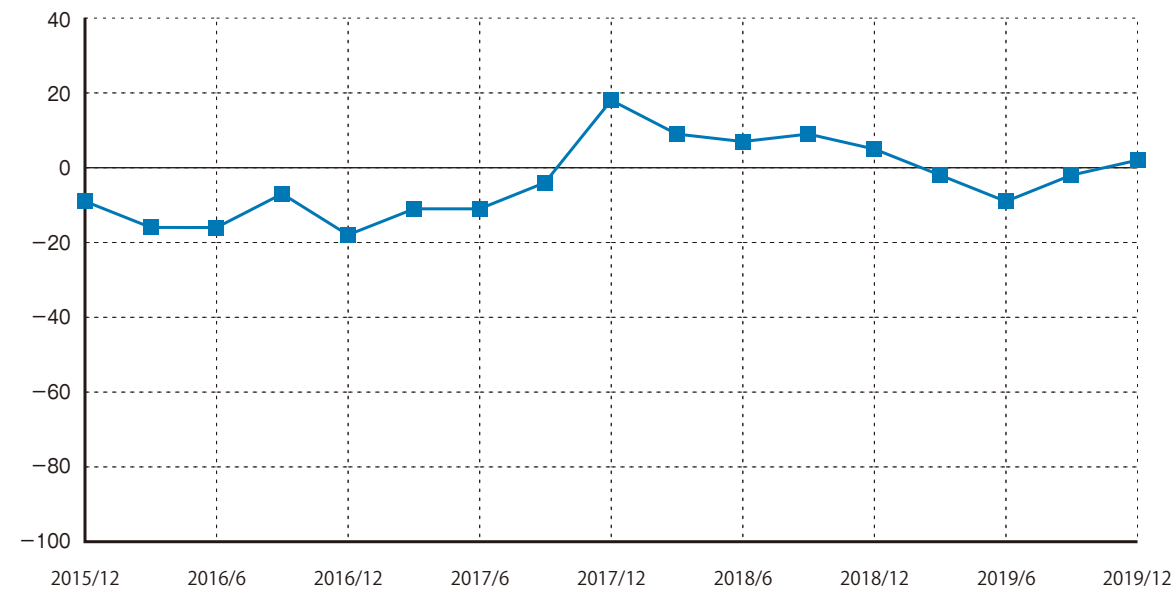
来期(1～3月期)は「資金繰り」で2ポイントの改善、「業

況」で9ポイント、「売上」で29ポイント、「収益」で12ポイントの悪化、「販売・請負・料金価格」で15ポイント「原材料・仕入価格」で13ポイントの下降、「設備」で2ポイントの減少を予想している。

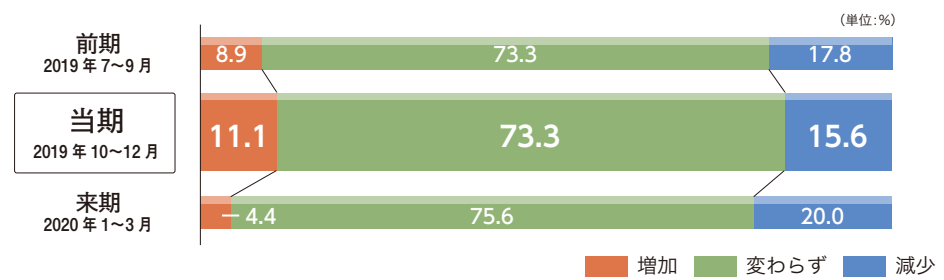
業況判断指数



「業況 DI」推移



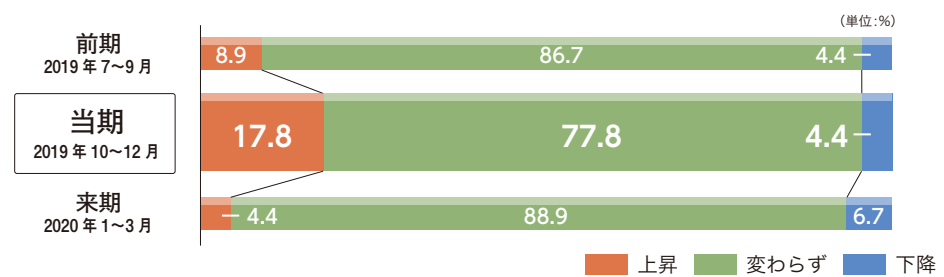
収益



業況判断指数



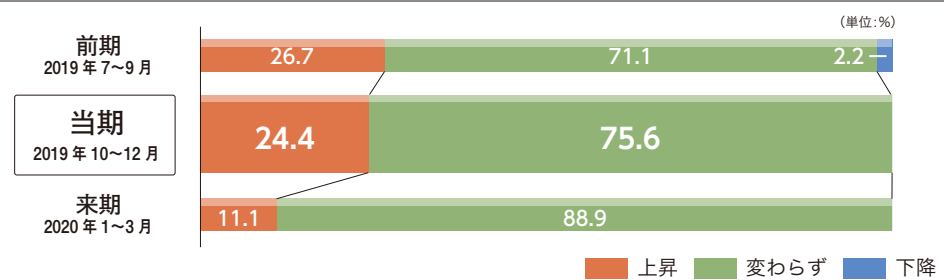
販売・請負・料金価格



業況判断指数



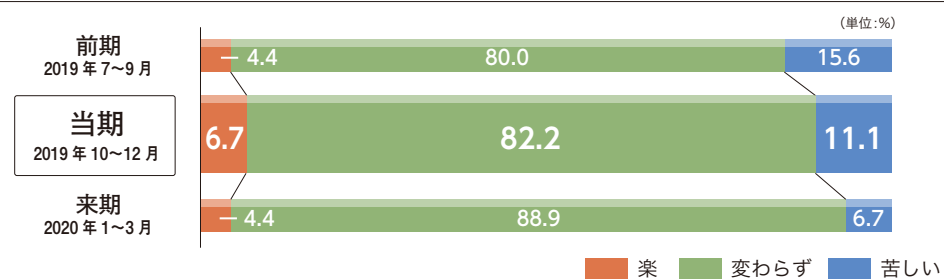
原材料・仕入価格



業況判断指数



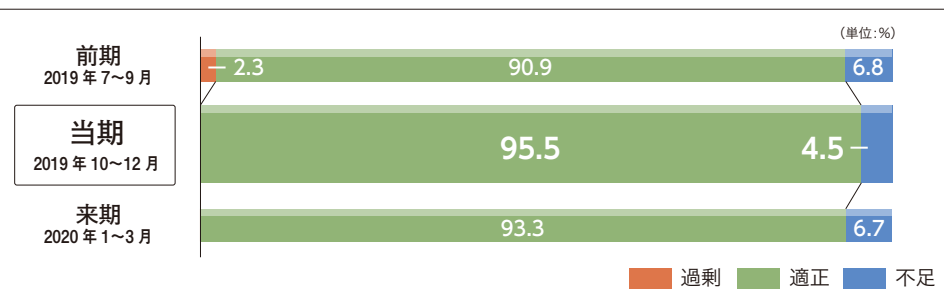
資金繰り



業況判断指数



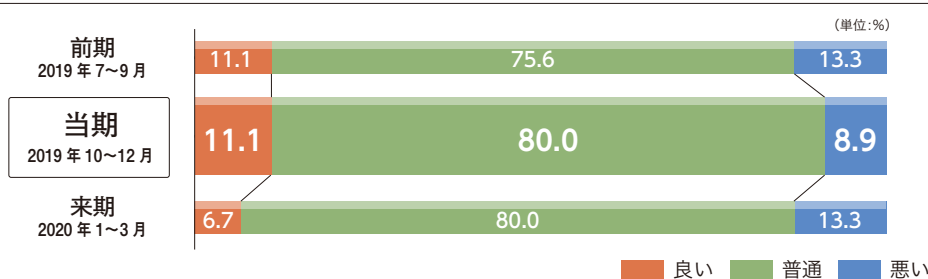
設備



業況判断指数



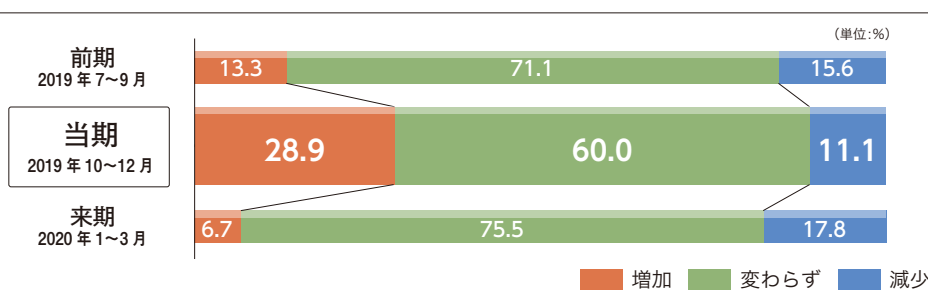
業況



業況判断指数



売上



業況判断指数



アイコンの説明: ...DI値 15 以上 ...DI値 14～5 ...DI値 4～▲4 ...DI値▲5～▲14 ...DI値▲15 以下
 「上 昇」 ...当期より増加 「横ばい」 ...当期から変化なし 「下 降」 ...当期より減少

...DI値 0 以上 ...DI値 0 ...DI値 0 以下

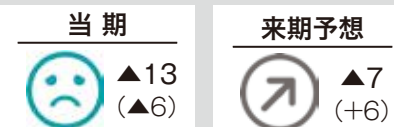
※カッコ内は前回調査との増減幅です。

不動産業

不動産業の当期(10～12月期)の業況判断DIは▲13となり、前期(7～9月期)と比較して6ポイントの悪化となった。「原材料・仕入価格」で13ポイントの上昇、「売上」で30ポイント、「収益」で24ポイント、「資金繰り」で3ポイントの悪化、「販売・請負・料金価格」で3ポイントの下降となる。

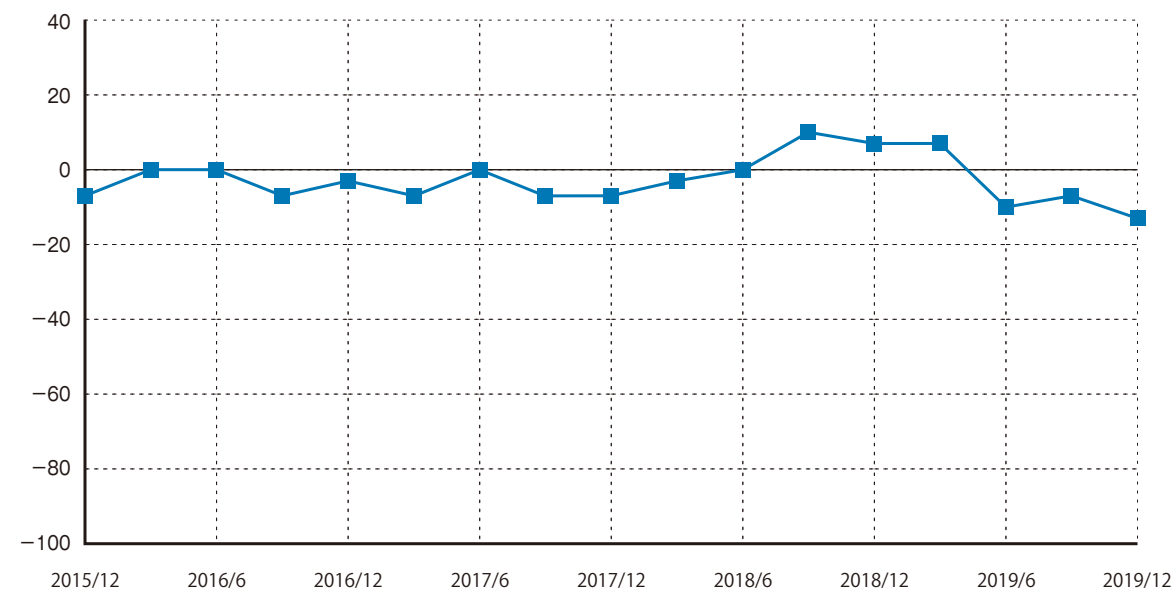
来期(1～3月期)は、「業況」で6ポイント、「売上」で16ポイント

業況判断指数

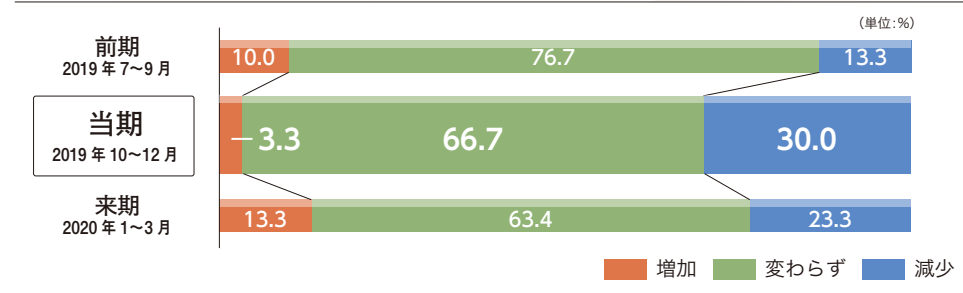


イント、「収益」で17ポイントの改善、「販売・請負・料金価格」で13ポイント、「原材料・仕入価格」で17ポイントの下降、「資金繰り」で4ポイントの悪化を予想している。

「業況 DI」推移



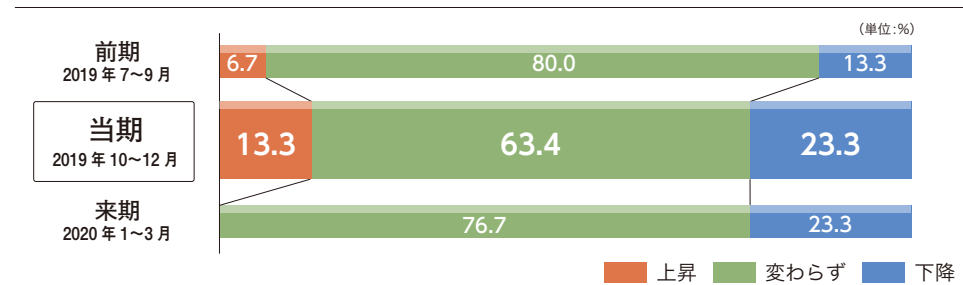
収益



業況判断指数



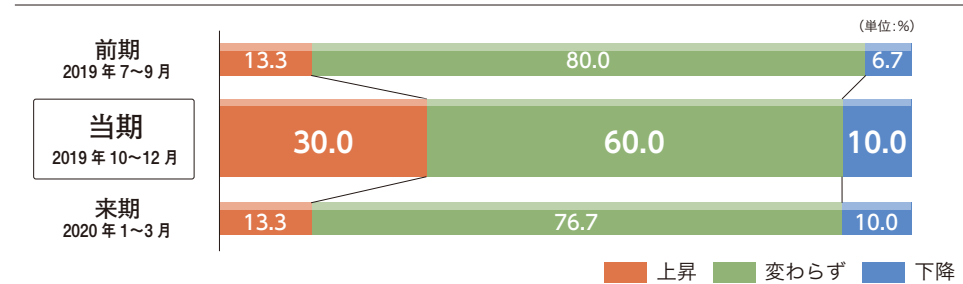
販売・請負・料金価格



業況判断指数



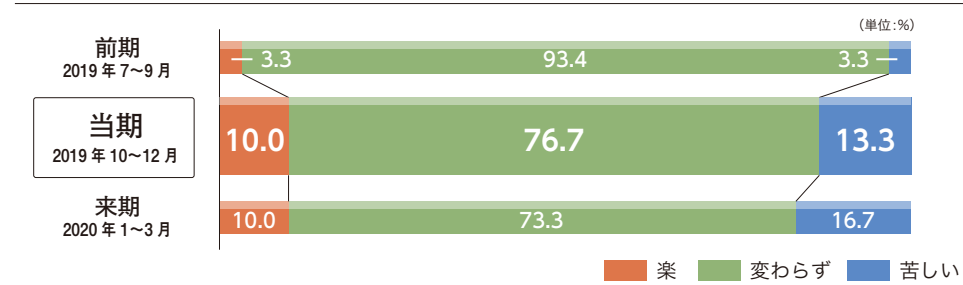
原材料・仕入価格



業況判断指数



資金繰り



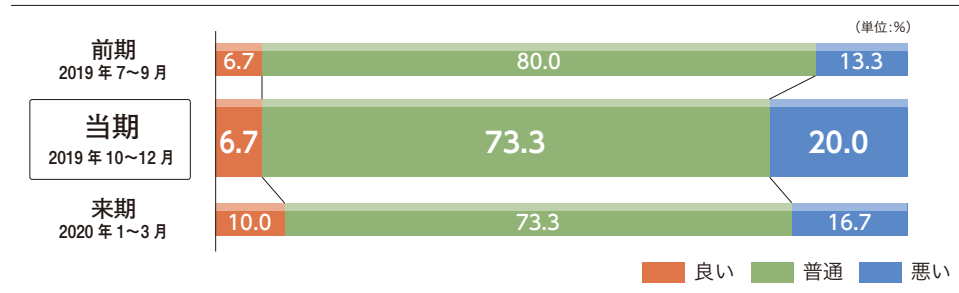
業況判断指数



▲ DI値0以上 ▼ DI値0 ▼ DI値0以下

※カッコ内は前回調査との増減幅です。

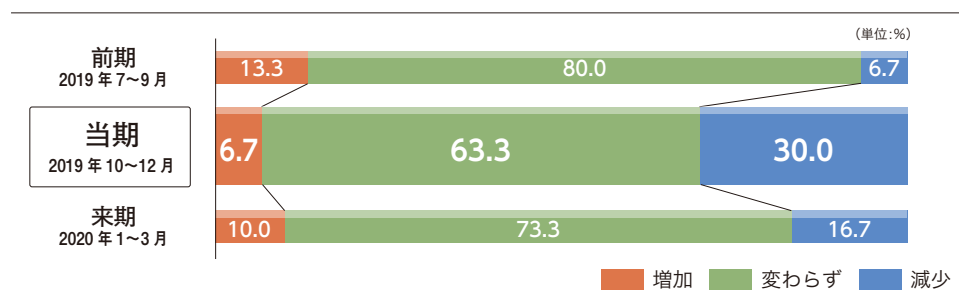
業況



業況判断指数



売上



業況判断指数



アイコンの説明:
 ☹️ …DI値15以上 😐 …DI値14～5 😊 …DI値4～▲4 ☹️ …DI値▲5～▲14 ☹️ …DI値▲15以下
 ↗️ 「上 昇」 …当期より増加 ➡️ 「横 ばい」 …当期から変化なし ↘️ 「下 降」 …当期より減少

中小企業・小規模事業者の皆様のために、売上拡大や経営改善、
販路開拓などの相談に、経験豊かな専門家が無料で対応いたします。

- ・取引先を増やすにはどうしたらよい? ・経営革新計画や補助金の申請についてアドバイスがほしい。
- ・商品開発やブランディング、販促活動はどうしたらよい? ・特許や意匠などの知的財産について教えてほしい。
- ・工場の品質や生産について、改善のきっかけがほしい。 ・ホームページ、SNSを利用した集客方法を知りたい。

(お問い合わせ) **Tel.0120-973-248** または **048-783-3926**
お申し込み先

公益財団法人埼玉県産業振興公社 埼玉県よろず支援拠点事務局
お電話で事前にご予約ください。 埼玉県よろず支援拠点は、国の事業を受けて埼玉県産業振興公社が運営しています。



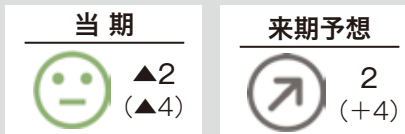
〒330-8669
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5
大宮ソニックシティビル10F
FAX.048-645-3286
E-mail yorozu@saitama-j.or.jp
www.saitama-j.or.jp/kikaku/yorozu/

サービス業

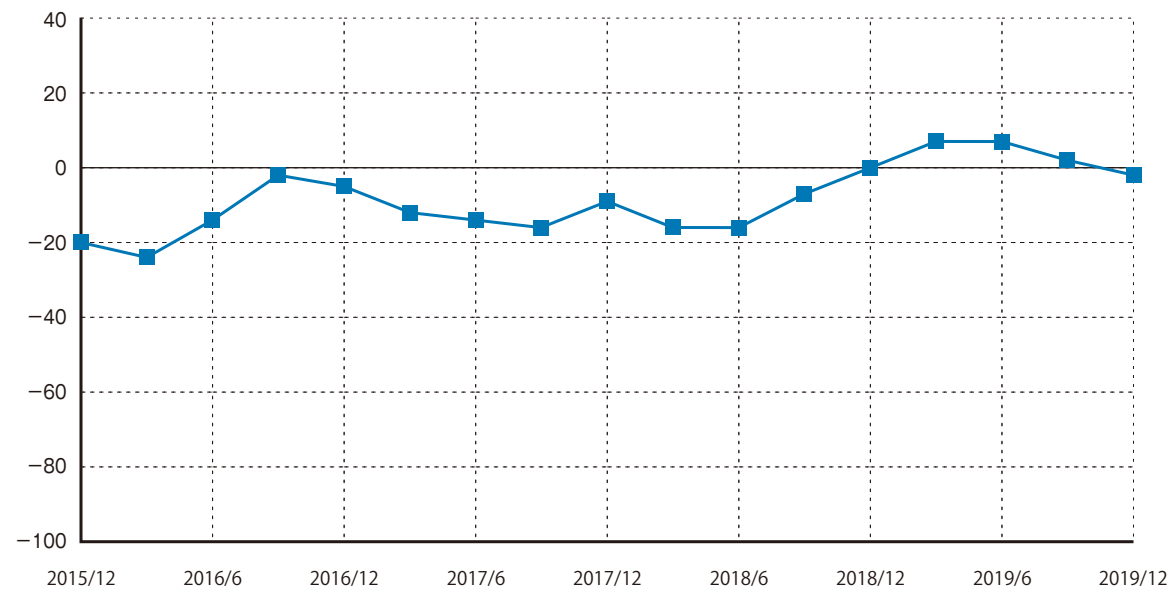
サービス業の当期(10～12月期)の業況判断DIは▲2となり、前期(7～9月期)と比較して4ポイントの悪化となった。「販売・請負・料金価格」で5ポイント、「原材料・仕入価格」で8ポイントの上昇、「資金繰り」で10ポイントの改善、「売上」で5ポイント、「収益」で12ポイントの悪化、「設備」で9ポイントの減少となる。

来期(1～3月期)は「業況」で4ポイントの改善、「収益」、「設備」で横ばい、「売上」で7ポイント、「資金繰り」で5ポイントの悪化、「販売・請負・料金価格」で7ポイント、「原材料・仕入価格」で8ポイントの悪化を予想している。

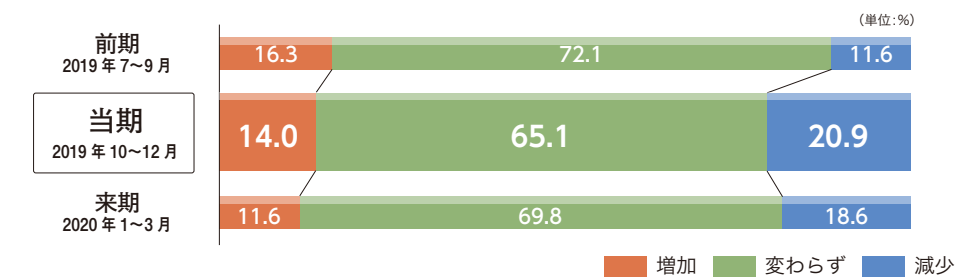
業況判断指数



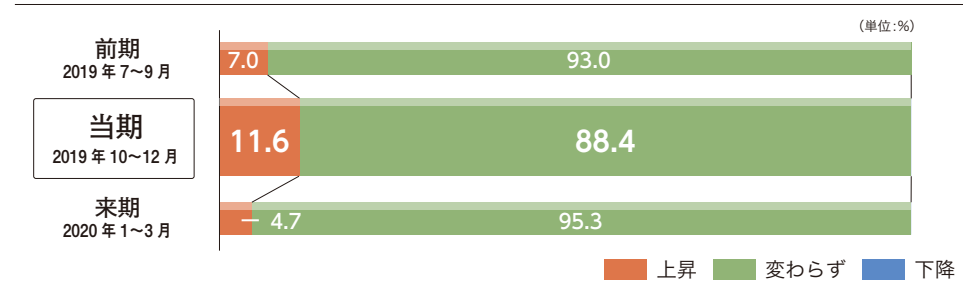
「業況 DI」推移



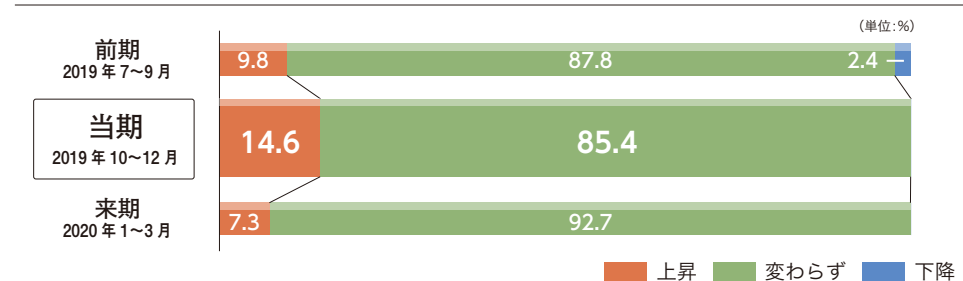
収益



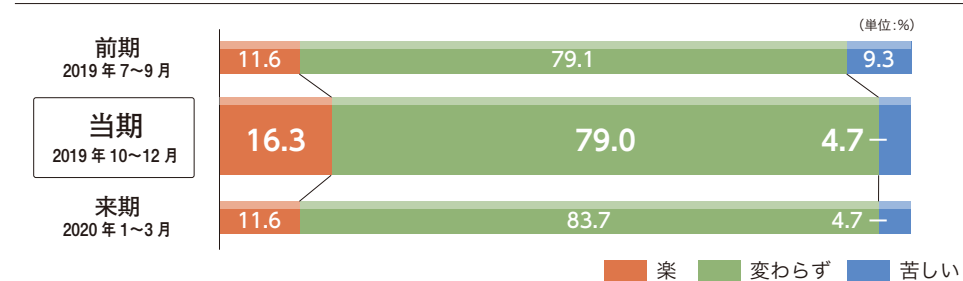
販売・請負・料金価格



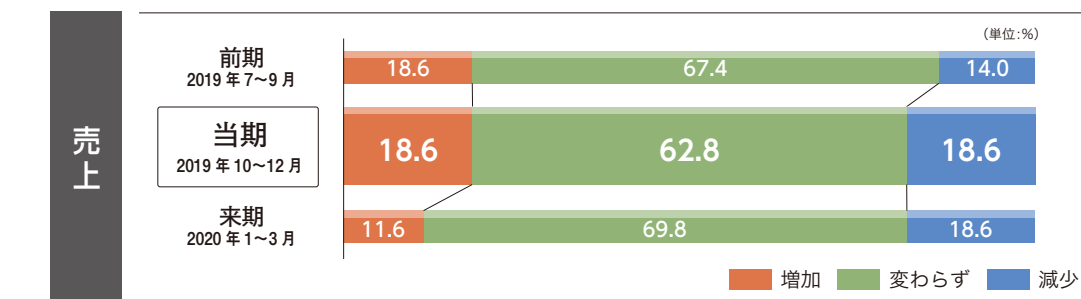
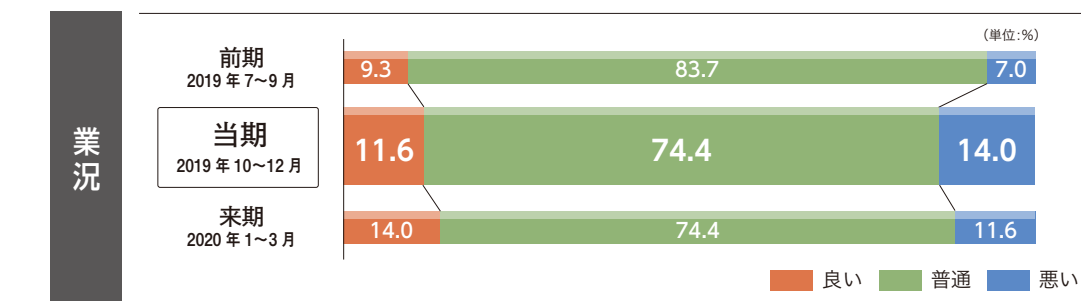
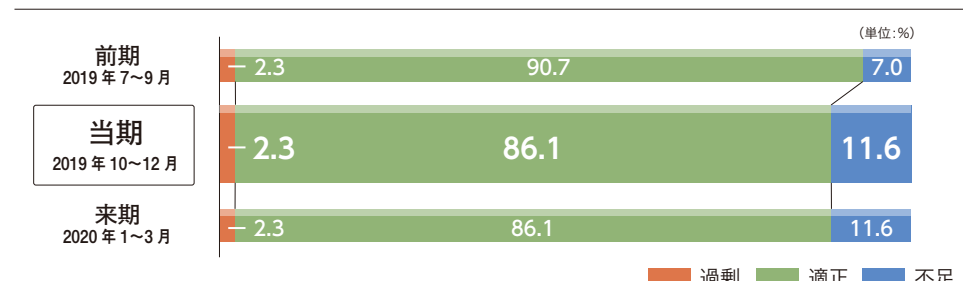
原材料・仕入価格



資金繰り



設備



アイコンの説明: ...DI値 15 以上 ...DI値 14～5 ...DI値 4～▲4 ...DI値 ▲5～▲14 ...DI値 ▲15 以下
 「上 昇」 ...当期より増加 「横ばい」 ...当期から変化なし 「下 降」 ...当期より減少

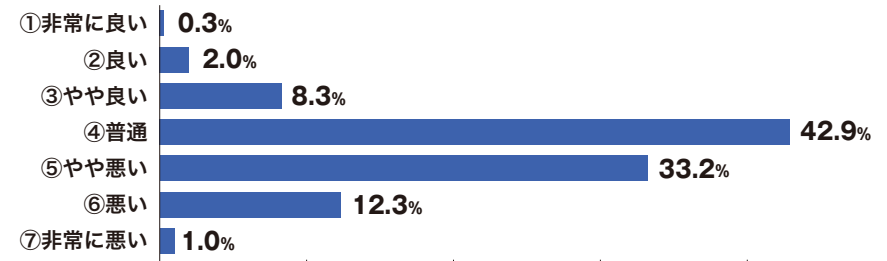
...DI値 0 以上 ...DI値 0 ...DI値 0 以下

※カッコ内は前回調査との増減幅です。

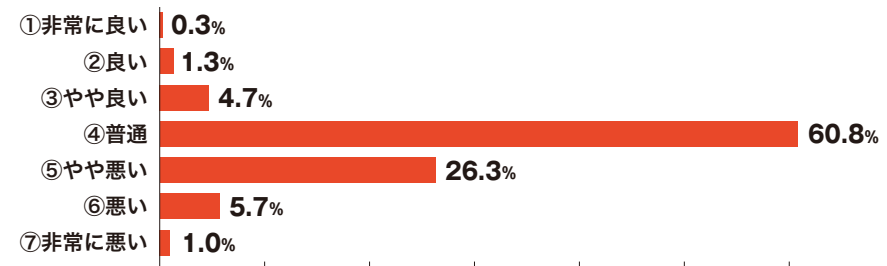
特別調査

2020年（令和2年）の経営見通し

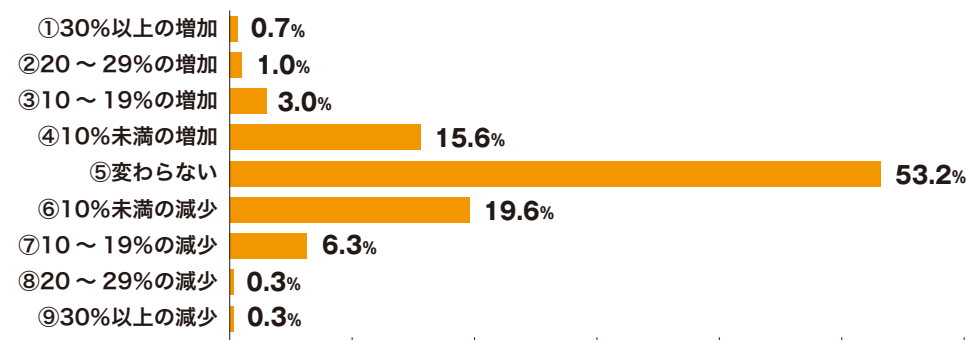
問 1. 貴社では、2020 年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から 1 つ選んでお答えください。



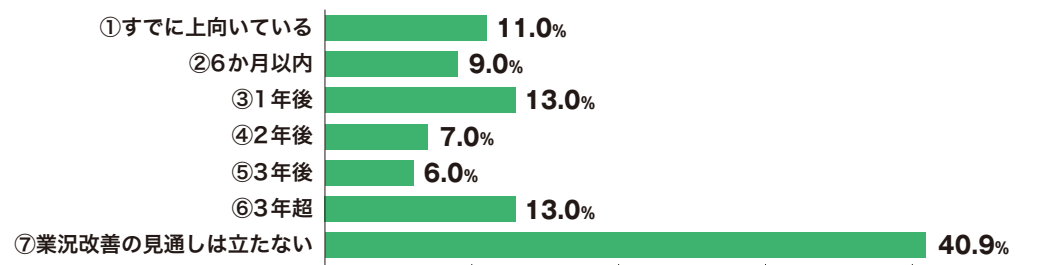
問 2. 貴社では、2020 年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から 1 つ選んでお答えください。



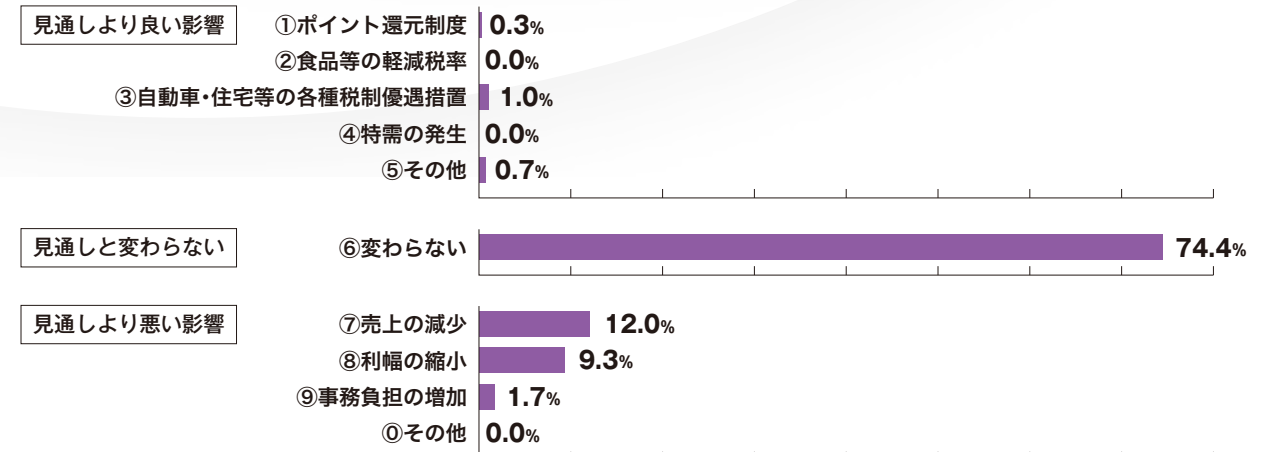
問 3. 2020年において貴社の売上額の伸び率は、2019 年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から 1 つ選んでお答えください。



問 4. 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から 1 つ選んでお答えください。



問 5. 10 月以降の貴社の経営は、消費税率引上げ前の見通しと比べて、どのような影響を受けていますか。受けている影響とその理由について、最も当てはまるものを 1 つ選んでお答えください。

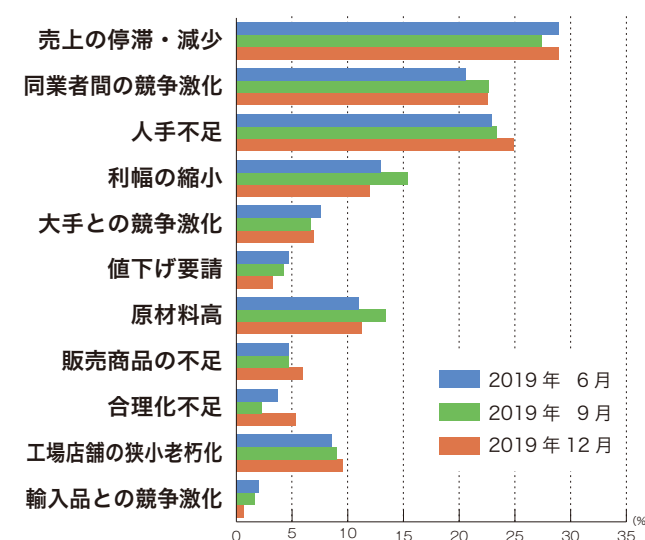


《特別調査 調査員コメント》

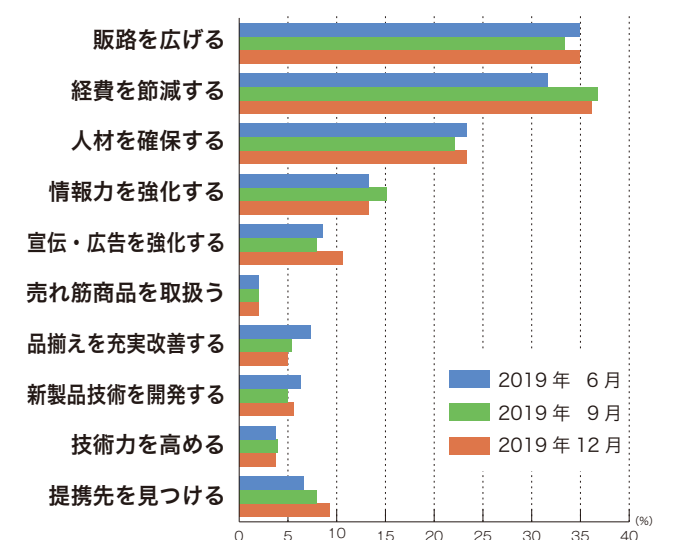
- 【 鋳 造 業 】 彫刻のモニュメントや街灯など鋳物装飾品を受注生産しており、あまり景気には左右されない。当社のような技術を有する競合先が少ない為、当面変化はないと考えている。
- 【 鋳 鉄 管 製 造 業 】 オリンピックを前に道路工事を控える為、東京都が水道管の発注制限をしており、来年まで減収・減益が続く見込み。
- 【 金 型 製 造 業 】 大型台風により福島工場が浸水した為、設備資金、運転資金ともに借入が見込まれる。
- 【 機 械 製 造 業 】 2ヶ月前に取引先の不渡りがあり、影響を受けた同業者も多かった。今後は景気の落ち込みも見込まれ、信用情報が大切になってくると同業者間で話題になっている。
- 【 歯車・旋盤加工品製造業 】 大型台風により取引先が被災した為、12月から減産。受注回復の目処が立っておらず、来年は10%～20%の減収を見込んでいる。
- 【 塩化ビニール・革製品製造業 】 当社がメインで取り扱っている素材の塩化ビニールに対してヨーロッパで使用規制がかかり、今後の影響を懸念する。
- 【 プラスチック製造業 】 高齢で廃業する同業者が多く、その取引先の受皿になっていることもあり、受注状況に変わりはない。
- 【 鋳造製品販売業 】 夏場以降、鋼材価格が下降している。仕入から販売まで2ヶ月程度の時間差があり、価格が上昇すると利幅が多く、下降すると少なくなる為、この傾向が続くのは困る。
- 【 介護用品レンタル業 】 介護保険料の見直しが増収につながっている。
- 【 システム開発・販売業 】 今年は改元、消費税率引上のおかげでシステム販売等忙しく、増収・増益となったが、来年は一段落する影響で減収・減益を見込んでいる。

経営上の問題点と当面の重点経営施策

経営上の問題点集計結果(全業種)



当面の重点経営施策(全業種)



南九州信用金庫協会主催「事業承継研究会」において、当金庫の事業承継支援について講演を行いました

当金庫の事業承継支援が「信用金庫新聞」(2019年4月1日号)に掲載されたことをきっかけに、2019年10月3日(木)から4日(金)にかけて、信金中金 南九州支店(熊本市)で開催された標記研究会において、当金庫の取り組みを発表いたしました。

この研究会は、南九州信用金庫協会に加盟している14信用金庫の事業承継担当者19名が参加して行われ、「事業承継診断の工夫と外部機関の活用」をテーマに、当金庫の地域振興部職員2名が講演を行いました。

参加者からは、「事業承継アンケートの徴求から具体的な支援までのマニュアルの有無」や「M&A仲介会社との連携・活用」、「営業店の業績評価にどのように反映させているのか」といった質問が多数あり、事業承継に対する関心の高さが窺えました。

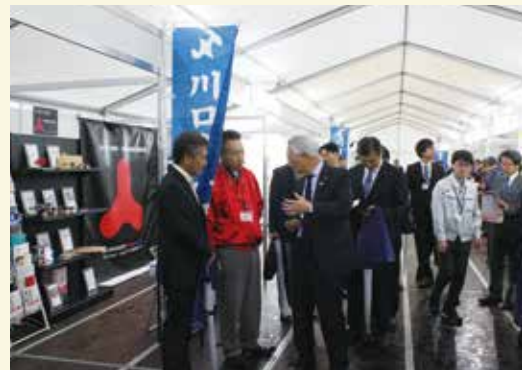


「川口市市産品フェア2019」が開催されました

2019年10月25日(金)から27日(日)の3日間にわたり、彩の国ビジュアルプラザ(SKIPシティ)において「川口市市産品フェア2019」が開催され、延べ3万人を超える来場者がありました。今回で5回目となる当フェアは、川口市内の製造業や緑化産業等で生産される製品およびその他サービス等を広く市内外に発信することで、市内企業の販路拡大と発展を図り、ひいては地域経済の活性化につなげるべく2015年から毎年開催されております。

今年も「知ろう・使おう・広げよう」をテーマに、127の企業・団体(内、当金庫取引先58先)が出展しました。

各ブースでは、出展者が自社の技術や製品などを分かりやすく展示し、新たな商機の場としてアピールされていきました。当金庫も実行委員会構成団体を務め、市内の他金融機関とともに出展し、各種金融商品・サービスの紹介や相談会を行いました。また、金融機関合同イベントとして、ビンゴゲーム・札勘ゲーム・金融クイズ大会等も開催しました。ご家族連れの来場者にたいへん喜ばれ、3日間で約300名に参加していただく大盛況の催しとなりました。



「第26回地域貢献セミナー」を開催しました

あおしんビジネススクラブ主催の「第26回地域貢献セミナー」が2019年11月8日(金)に川口駅前市民ホール「フレンジア」において、ビジネススクラブ会員を始めとする230名のお客様に参加していただき、開催されました。

今回のセミナーは「『これからの防災・危機管理』～個人の備えと組織の対応～」をテーマに、防災システム研究所 所長 山村武彦氏を講師にお迎えして、①令和元年台風15号、台風19号の教訓について、②長期停電に備える知識と知恵について、③命を守る事を優先する「スマート防災」について、④突発的大規模地震に備えることについて、⑤大規模災害に備える、実践的防災・危機管理についてなどの講演をしていただきました。

折しも大型台風が立て続けに日本列島を襲い、甚大な被害が発生したばかりであり、参加者からは災害に備えるためには何が必要かなど、具体的にアドバイスを頂け、有意義なセミナーであったとの声を多くいただき、たいへん好評でした。



中小機構 関東本部主催「支援者向け事業承継研修」で当金庫の事業承継支援の取り組みについて発表しました

標記研修が2019年12月6日(金)に東京都内で開催されました。研修には、中小機構 関東本部管内10県の弁護士、公認会計士や金融機関など事業承継に関する支援者210人が参加し、事業承継コーディネーターによる講義やパネルディスカッションが実施されました。

パネルディスカッションでは当金庫職員がパネラーとして登壇し、当金庫の支援の取り組みが取引先との信頼関係構築につながっていること、中小機構の専門家派遣が当金庫職員にとって貴重なOJTの機会となっていることなどを発表いたしました。

当金庫ではこれからも外部支援機関等と連携し、事業承継支援に取り組んで参ります。



「地域安全マップ」の作製を支援しました

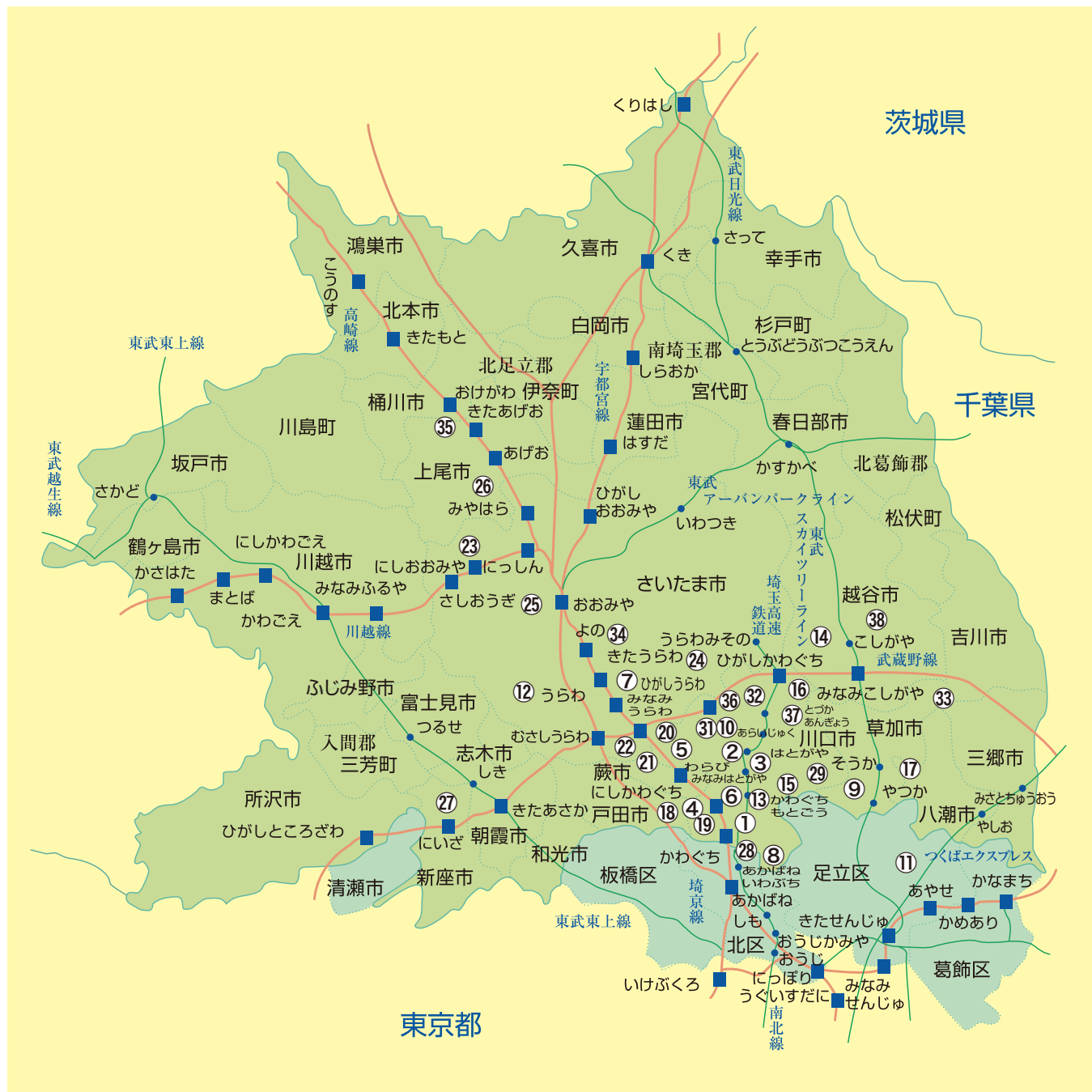
2019年12月9日(月)に立正大学の小宮信夫教授の協力を得て、川口市立上青木南小学校において『地域安全マップ』の作製を支援いたしました。

『地域安全マップ』は、1日の中で、講義、街歩き、マップ作製、発表等を通じて、楽しみながら児童が自ら「危険な場所」を知り、日々の行動に活かし、犯罪から身を守ることを目的としており、今回で第11回目の実施となります。

当金庫は、「街づくり」「人づくり」が地域貢献であるとの認識のもと、「地域の児童の安全」を願い、今後も支援を継続していく予定です。



●営業地区及び店舗配置図（埼玉県内28市3町2郡・東京都内4区1市）



店 舗 一 覧

①本店営業部	〒332-0032	川口市中青木 2-13-21	ℒ048-251-5811	②③芝支店	〒333-0855	川口市芝西 2-26-24	ℒ048-261-5211
②北支店	〒333-0845	川口市上青木西 5-27-15	ℒ048-266-6000	④⑤蕨支店	〒335-0001	蕨市北町 1-23-15	ℒ048-443-1331
③鳩ヶ谷支店	〒334-0002	川口市鳩ヶ谷本町 2-1-3	ℒ048-281-4003	⑥⑦南浦和支店	〒336-0025	さいたま市南区文蔵 2-21-4	ℒ048-864-8111
④西川口支店	〒332-0021	川口市西川口 2-1-20	ℒ048-252-4665	⑧⑨指扇支店	〒331-0073	さいたま市西区指扇領別所 382-2	ℒ048-623-6911
⑤蕨駅前支店	〒333-0851	川口市芝新町 7-5	ℒ048-265-1831	⑩⑪尾間木支店	〒336-0926	さいたま市緑区東浦和 7-32-16	ℒ048-874-3511
⑥並木町支店	〒332-0034	川口市並木 4-1-18	ℒ048-251-0260	⑫⑬大宮支店	〒330-0855	さいたま市大宮区上小町 803-1	ℒ048-645-8551
⑦浦和支店	〒336-0931	さいたま市緑区原山 2-25-21	ℒ048-882-2051	⑭⑮上尾支店	〒362-0045	上尾市向山 2-1-4	ℒ048-725-5311
⑧南平支店	〒332-0003	川口市東領家 2-1-1	ℒ048-222-1260	⑯⑰新座支店	〒352-0001	新座市東北 2-2-11	ℒ048-472-4311
⑨谷塚支店	〒340-0023	草加市谷塚町 1336-2	ℒ048-927-1101	⑱⑲宋町支店	〒332-0017	川口市宋町 1-12-21-101	ℒ048-254-0121
⑩芝前川支店	〒333-0848	川口市芝下 3-37-26	ℒ048-267-6543	⑳㉑榑松支店	〒334-0062	川口市榑松 1-16-8	ℒ048-285-8855
⑪足立支店	〒121-0075	足立区一ツ家 2-10-15	ℒ03-3850-9911	㉒⑳柳崎支店	〒333-0848	川口市芝下 3-37-26	ℒ048-267-6543
⑫埼玉大通支店	〒338-0823	さいたま市桜区栄和 3-13-10	ℒ048-854-1141	㉓㉔差間支店	〒333-0815	川口市北原台 3-21-28	ℒ048-294-8050
⑬朝日支店	〒332-0001	川口市朝日 2-27-13	ℒ048-225-1811	㉕㉖吉川支店	〒342-0036	吉川市高富 1-14-17	ℒ048-981-6622
⑭越谷支店	〒343-0806	越谷市宮本町 1-166-3	ℒ048-965-2821	㉗㉘木崎支店	〒330-0042	さいたま市浦和区木崎 2-31-27	ℒ048-833-2711
⑮江戸袋支店	〒334-0075	川口市江戸袋 1-12-1	ℒ048-285-3611	㉙㉚桶川支店	〒363-0023	桶川市朝日 3-20-2	ℒ048-772-6611
⑯戸塚支店	〒333-0802	川口市戸塚東 3-3-1	ℒ048-296-2211	㉛㉜神根支店	〒333-0832	川口市神戸 787-1	ℒ048-282-6611
⑰八潮支店	〒340-0808	八潮市緑町 5-12-7	ℒ048-995-1121	㉝㉞安行支店	〒334-0051	川口市安行藤八 480-2	ℒ048-298-2011
⑱戸田支店	〒335-0011	戸田市下戸田 2-31-1	ℒ048-446-1311	㉟㊱東越谷支店	〒343-0023	越谷市東越谷 6-26-1	ℒ048-963-3821
⑲飯仲支店	〒332-0021	川口市西川口 2-1-20	ℒ048-252-4665				